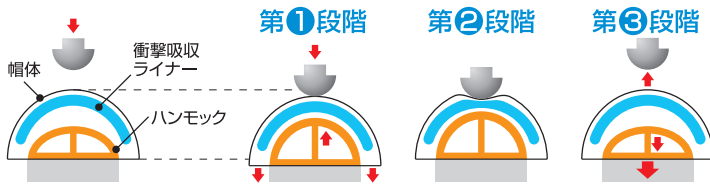


# 保護帽と装着体は定期的に交換しましょう！

保護帽は、人体の中で最も重要な頭部を保護するものです。帽体・装着体・衝撃吸収ライナーの全体のバランスによって安全を確保しています。裏面の『20のチェックポイント』を使い、各項目に該当するものは直ちに交換してください。

## 保護帽 衝撃吸収のメカニズム

衝撃を保護帽全体（帽体と衝撃吸収ライナー及びハンモック）で柔らかく受け止めて、頭に伝わる衝撃を最小限に食い止めます。



### ① ハンモックが伸びる

ハンモックが伸びて衝撃を吸収します。帽体とハンモックの間に十分な隙間が設けられています。

### ② 帽体がひずむ

帽体がひずんで衝撃を受け止めます。ライナーが内装されていると、より大きな衝撃を吸収できます。

### ③ 帽体の復元

衝撃を受け止めた後、元の形に戻ろうとします。

FRP（ガラス繊維強化プラスチック）製の保護帽では帽体が割れることによって第②段階・第③段階のエネルギーを吸収します。

## 使用期間が長い保護帽は使用しないでください。

一般社団法人 日本ヘルメット工業会発行「保護帽の取扱いマニュアル」より

ABS・PC・PE  
(熱可塑性樹脂)

使用開始から

**3年以内**

FRP  
(熱硬化性樹脂)

使用開始から

**5年以内**



(写真はタニザワエコロジーセンターへ送られてきた使用済みヘルメットを使い、衝撃吸収性能試験をしたものです。)

通常、ヘルメットは割れたりへこんだりすることによって衝撃を吸収します。耐用年数を過ぎたヘルメットでは外観に問題がなくても帽体の樹脂の劣化が進み、規定の衝撃吸収力を保てなくなってしまうことがあります。

## 装着体は衛生面も考慮し、1年くらいで交換してください。 劣化・異常が認められた場合は、直ちに交換してください。

一般社団法人 日本ヘルメット工業会発行「保護帽の取扱いマニュアル」より



使用開始から  
**装着体 1年以内**

(写真はタニザワエコロジーセンターへ送られてきた使用済みヘルメットを使い、衝撃吸収性能試験をしたものです。)

装着体は、伸びることによって衝撃を吸収しますが、このように衝撃が加わった際に切れてしまったりは装着体の役割を果たせません。

衛生面だけでなく、ヘルメットの性能維持のためにも、装着体は年に1回は交換しましょう。